

経産省「低炭素社会を実現する新材料パワー半導体プロジェクト」について



2010年5月31日

【国プロ委託先に採択】

経済産業省は4月30日（金）、平成22年度「低炭素社会を実現する新材料パワー半導体プロジェクト」に係る委託先の採択結果を発表しました。当該プロジェクトは、産官学の研究者が一体となって、革新的手法を取り入れた大口径・高品質・低コストのSiCウェハ（基板）作製技術の確立、および低炭素社会に向けたSiC高耐圧パワースイッチングデバイス製作技術の開発を主な目的としています。

タカトリは技術研究組合次世代パワーエレクトロニクス研究開発機構（FUPET）や複数企業と共同申請を行ない採択されました。採択機関はFUPETに加盟すると共に、産総研つくばセンターを中心に、参画研究者が一体となって活動する集中研方式を軸に、プロジェクトリーダーの指示のもとプロジェクト推進を行うことになっています。研究期間は平成22年度～平成26年度の5年間で、予算規模は年間20億円の見込みです。

タカトリはSiCウェハ業界における切断加工機（マルチワイヤーソー）のトップ企業として、当該プロジェクトにおける大口径SiCウェハの切断加工技術の高度化目標達成に寄与し、低炭素社会の実現に貢献したいと考えています。

【技術研究組合次世代パワーエレクトロニクス研究開発機構】

（FUPET：Future Power Electronics Technology）

独立行政法人産業技術総合研究所
学校法人関西学院
旭ダイヤモンド工業株式会社
サンケン電気株式会社
昭和電工株式会社
新日本製鐵株式会社
株式会社タカトリ
株式会社デンソー
株式会社東京カソード研究所
株式会社東芝
株式会社東レリサーチセンター
トヨタ自動車株式会社
株式会社豊田中央研究所

豊田通商株式会社
日産自動車株式会社
パナソニック株式会社
日立化成工業株式会社
株式会社日立製作所
富士電機ホールディングス株式会社
株式会社フジミインコーポレーテッド
株式会社本田技術研究所
三菱電機株式会社
株式会社明電舎
ローム株式会社
財団法人新機能素子研究開発協会

（全25機関）